



風神雷神門

# The Door Step to Japan

## vol.37

2016年 秋冬号

日本の扉  
浅草  
浅草・槐の会  
ASAKUSA

平成二十八年丙申

平成二十九年丁酉

七月 (文月) 九、十日 四万六千日 (ほおろぎ市) 三十日 隅田山花火大会	八月 (葉月) 十五日 万霊燈籠供養会 二十七日 浅草サンバカーニバル	九月 (長月) 六日 台東薪能 二十三日 彼岸会	十月 (神無月) 十八日 金龍の舞・菊供養	十一月 (霜月) 三日 白鷺の舞 十一、二十三日 酉の市 十五日 七五三	十二月 (師走) 十七、十九日 歳の市 (羽子板市) 三十一日 除夜の鐘 (弁天山)
一月 (睦月) 初詣 浅草名所七福神もろで	二月 (如月) 三日 節分の日 八日 針供養	三月 (弥生) 十八日 浅草観音示現会・金龍の舞	四月 (卯月) 八日 釈尊誕生日 (花まつり) 九日 白鷺の舞 中旬 浅草流鏑馬 中旬 早慶しがッタ	五月 (皐月) 五日 宝の舞 十九、二十日 三社祭 二十七、二十八日 お富士様の植木市	六月 (永無月) 二十四、二十五日 お富士様の植木市

# 浅草を彩る9月~2月の代表的催事

## 9月 長月

### 彼岸会

● 9月23日

お彼岸は、気候もよく太陽が真西に沈むこの時期を修行にあて、太陽の恵みに感謝し五穀豊穡を願う祈りに端を発しています。浅草寺では、五重塔に霊拝を安置しているご信徒に拝殿を開放し、自由に参拝していただいています。

## 10月 神無月

### 金龍の舞

● 10月18日

浅草寺の正しい名称は「金龍山浅草寺」といいます。金龍山の山号は、浅草観音承応縁起に書かれている「十八日、寺辺に一夜にして松千株ほど生ず、三日を過ぎて天より長さ百寸ばかりの金鱗の龍、松の中に下りし」に由来しています。この故事を踏まえて創作された舞が「金龍の舞」です。毎年3月と10月の18日に、いなせ半纏、はらがけ、もも引きの江戸っ子姿の浅草寺舞保存会メンバー9名の手によって勇壮に演じられています。



10月 浅草菊花展



## 11月 霜月

### 白鷺の舞

● 11月3日

今でも浅草は江戸の名残を最も濃く残す町、東京の代表的下町として全世界の人々の人気を博しています。平成元年11月3日から始められた「東京時代まつり」は、東京の歴史と文化の原点は浅草であるという観点から、江戸・東京の歴史絵巻の行列が浅草の町を行進します。さまざまな時代絵巻は、多くの観客を集める催しとなっています。この時代絵巻の一つに白鷺の舞があります。白鷺の舞は古い時代の祭礼行列の中にある「鷺舞」の姿を浅草観光連盟が復興したものです。

### 酉の市

● 11月11・23日

酉の市は、秋の収穫期に神社に鶏を奉納した「とりまつり」に由来し、神社から農家に授ける熊手が「とりこむ」ということで縁起が良く、商売繁昌を願う催しとなりました。酉の市で有名なのが浅草・千束にある鷺（おとり）神社。その愛称である「おとりさん」がいつしか酉の市のことを指すようになりました。酉の市は11月の酉の日に開かれます。三の酉まである年は火事が多いという俗説がありますが、今年は二の酉まで。といっても、火の用心にはお気をつけ下さい。



11月 白鷺の舞



## 12月 師走

### 納めの観音、歳の市《羽子板市》

● 12月17~19日

毎年観音様の御縁日である18日の前後を含めた17、18、19日の3日間行われており、もとは正月の飾り物などを中心とした市でした。今でも観音北側の広場では、しめ飾りなどの卸売りをするお店も立ち並び通常「ガサ市」と呼ばれ、これを小売りする人達が仕入れにきています。江戸末期より「生まれた子が邪気をはねのけ健やかに育つ市に通じる」との謂れから女兒の出産には必ず羽子板を贈る風習が始まり、今では「羽子板市」と呼ばれるようになりました。



1月 浅草観音初詣



2月 節分会

## 1月 睦月

### 浅草観音初詣

● 1月1日

除夜の鐘と浅草寺開扉とともに始まる初詣。正月期間中、表参道である仲見世をはじめ境内は華やいだ人々で埋まります。

## 2月 如月

### 節分会

● 2月3日

節分とは一年の春夏秋冬を分ける言葉で本来年に4回あるはずですが、現在では立春の前日のみをさしています。浅草寺では1時と2時の2回にわたり、信徒の有志が年男となり本堂東側回廊の舞台で、また西側影向堂の舞台では観光連盟主催による豆撒きが古式追儀式の終了後2時半~6時までの間5回に分けて行われています。



1月 江戸消防記念会・はしご乗り

### 9月~2月 その他の催事

- ◆ 七五三加持会……………11月15日
- ◆ 除夜の鐘……………12月31日
- ◆ 浅草名所七福神詣り……………1月1日~
- ◆ 江戸消防記念会・はしご乗り…1月6日
- ◆ 待乳山聖天・大根祭り……………1月7日
- ◆ 針供養……………2月8日

第一回

「浅草寺の歴史前編」

# 浅草寺子屋

講師  
荒井修



この記事は2010年に文化・芸術・観光のまちづくり協会が主催した「浅草寺子屋」の内容を再現したものです。講師を務めたのが我が槐の会のメンバーであった荒井修氏。浅草の老舗舞扇店「荒井文扇堂」の四代目店主です。この講演の6年後、2016年2月22日に逝去されました。浅草や江戸の文化に精通し、浅草の町興しのオピニオンリーダーでもあった氏の知見を後世に伝えていくために、小誌ではこの記事を企画しました

2028年にやってくる  
観音様示現1400年に向けて

えー、もう18年後になるんですが（2010年時点で2028年のこと）、観音様が隅田川に現れてから1400年、示現1400年の御開帳があるんです。今までの御開帳や江戸開府400年の時には、観光連盟の仕事として歌舞伎の平成中村座を浅草に連れてくるとかいろんなことをやってきたわけなんですけど、あと18年後という私、80歳になっちゃうんでね。示現1400年のために動けるか…という前に、生きてるかどうかわからない（笑）。というわけだね、今のうちに動ける若者を育てたいということで、この寺子屋を始めたわけです。

18年後より手前には何があるかっていうと、再来年の2012年は三社祭が始まって700年目に当たります。ちょうどその時に、隅田川の向こう方にはスカイツリーが完成して、隅田川周辺にはいろいろなことがある。やらなきゃならないことがいっぱいあるわけです。

先ほど皆さんにお配りした中に年表があり

ますね。こう年表を見ててですね、あと何年後に何が始まって何年目になるかなって調べるのをずうっとやってたんです。例えば歌舞伎や狂言の作者である河竹黙阿弥が亡くなって没後100年というのを付箋をつけておきました。1993（平成5）年です。仲見世会館の横には黙阿弥の住居跡の碑というのがあって、浅草には縁の深い人なんですけど、そこまであと何年かなと、こういう計算をしたがる人なんです、私は。

それでその没後100年には猿若三座の子孫ということで当時の中村勘九郎、坂東八十助、そして市村萬次郎、この3人が猿若三座（幕末に浅草猿若町で興行を許された3つの芝居小屋）の子孫なんです。その3人と黙阿弥の子孫の河竹登志夫先生が集まって除幕式なんかをやったんです。そういうのをしょっちゅう考えていると、自分のできる仕事というのがね、この歳なら元気でできるぞというのと、この歳だと危ないかなというのがある。だいたい区別がつくようになってくるんです。まあ、そういうもんです。

そんなわけですから皆さん楽しみにしてください。少なくとも再来年の三社祭700

年のイベントは、来年（2011年）の11月からもう始めることで動いています。ぼやぼや忘れてもらえないわけで、元気でなくちゃいけないなと思っております。

浅草の観音様の始まりは  
仏教伝来の90年後



さあ、前置きが長くなりましたが、そろそろ授業を始めさせていただきます。お手元に地図が届いておりますね？ 1853（嘉永6）年の尾張屋版の浅草の切絵図です（図1）。赤いところがずいぶんあるでしょ。赤いところはたいていお寺なんです。浅草の地図はここごとく赤いんです。ですから浅草ってのはいかにお寺が多いか。この辺に有って、この辺に有って…、すごいでしょ？ みんな赤いんです、とにかくお寺が多いところです。その中でも観音様（＝浅草寺）は別格ですね。今日は浅草寺の歴史についてお話するんですけれども、それにはまず、ご示現の時の話をしなくちゃいけないわけですね。

浅草寺の始まりなどを書いた「縁起」というのがあります。縁起というのはどこの神社仏閣でも「嘘じゃないの？」というのがいっぱいありますね。「突然何かが起こった」とか、「一夜のうちに」とかがよく出てくるん

です。これに対して歴史というのは確かな時間がわかっている物事。「なるほど、これくらいの時間はかかるだろうな」と納得できるもので、これは史実。だからこの縁起と歴史を混同すると、「あいつの言ってることはおかしい」と言われるわけです。そりゃおかしいですよ、縁起ですから。そういうのは一杯あります。いかに靈驗あらたかなのかと言おうとすると、そういうことが起こるんです。起こるはずのないことが起こる。ちなみに浅草寺縁起というのは室町時代に書かれたものでございます。

観音様の歴史の始まりはね、推古天皇36年、西暦628年です。628という数字は、ムニヤと覚えてください。そして仏教伝来はゴミヤと覚えてください、538年。で、628年から538年を引くと90年。仏教伝来というのは大坂湾というところに百済から船が到来する。そこから大和川を流れて奈良に着いて仏具を贈ったというのが仏教伝来。その頃、浅草の辺りはどうだったかっていうと、隅田川の川幅がもっと広がったんですね。ほとんど海です。「戸」と付く地名はほとんど入口なんですけれども、江戸は入江の入口、ほとんど海なんです。先年も伝法院の井戸をお掃除したら貝殻が出てきたでしょ。今ある種類

図1：浅草絵図今戸（嘉永6年尾張屋版切絵図より）



ではない貝が出てきたりするんですけどね。この辺（会場の都立産業貿易センター台東館の周辺）も掘ると一番最初に多摩川の砂利が出てきて、その後に貝が出てくる。ですから観音様のご示現の90年前というのは、ほとんどこの辺、海の底です。だいたい上野の山の辺までが海ですな。田端の方へ行くと崖がこう、むき出しになっているじゃないですか。あの崖までが海で、100年くらいの間ですーっと水が引いてったと考えてよろしいと思います。

**網にかかった観音様  
だけど何だかわからない**

その628年3月18日の早朝です。…だんだん講師師みたいになってきたでしょ？ 見てきたように言いますけどね（笑）。朝早く、檜前浜成・竹成（ひのくまのはまなり・たけなり）という漁師の兄弟がおりまして。隅田川の、今でいう今戸の辺りですかね、その辺で網を打っているとどうも調子が悪い、間日（まび）で雑魚一匹かからないという状況ですな。間日というのは間の日、休みということで、魚にも休みがあるわけですね。もうそろそろ今日は諦めて帰ろうかというとき、水の中で何かピカッと光ったものがあつた。網にかかったものがあつたんですね。これが観音様です（図2）。



図2：「金龍山浅草寺御本尊聖観世音菩薩示現之図」三代目歌川豊国（与ろゝ屋所蔵）

ところが仏教伝来からわずか90年ですよ。新聞もラジオもテレビもない時代にそんなに文化というものは伝わってこないですね。今だって仏様を見て、観音様だとか、勢至菩薩だとか、そういうものの区別はつかないでしょ、普通の人にはね。坊さんでなきゃね。その頃の浜成、竹成にはそんなこと全然わかんない。何だかわかんない、不思議だけれど光るもの。そのくらいの認識なんです。

それをこまんどう（駒形堂）、今の駒形橋のところですよ。江戸っ子は「こまがたどう」なんて言っちゃいけないんですよ、「こまんどう」と言うんです。「こまがたどう」なんて言うと野暮だねって言われちゃうから気をつけたほうがいい。その駒形堂のところから上陸すると、そばにあったのが槐の木。槐とは木へんに鬼と書きます。この木の切り株にとりあえずはお祈りしたんです。いま、槐の木というのは三社様（浅草神社）の神輿蔵と神楽殿の間に1本ありますから、なんかの折に見てください。

そうそう、昔、槐の木があるのにしめ縄一本かかっちゃいねえ時代がありましてね。私は三社様に掛け合ましてね。浅草にとっちゃこれは御神木なんだと、しめ縄したほうがいいよって話をし、今はしてあると思います。そういうことが年取ると気になるんですな。気になるとなんでも言っちゃう。ただね、

昔と違って相手も怒らなくなってきた。荒井が来たんだから、あいつじゃしょうがねえと思われるようになってきたんですな。こうなったら言った者勝ちですからね、どんどん言いますよ（笑）。

**キジの大群が空を舞い  
一夜にして千株の松が発生**

そういうわけで隅田川から拾ったものを切り株に置いた。すると土地の郷司、村長（むらおさ）ですね。土師中知（はじのなかとも）という人。土師は土に教師の師ですな。ナカトモは、浅草寺で出した本と浅草神社で出した本と字が違うんですよ。浅草神社で出すとにんべんに中（仲）、観音様で出すと普通に中。どういわけかわかりませんけれども。この村長の中知の所に行って、こういうものが出ただけで見てくださいと言い、中知が槐の木のところまで来る。そうすると一夜のうちに…ここですよ、先ほどの「一夜のうちに」というのが出てくるのはね、えへへ（笑）。

一夜のうちにアカザという草で作った草堂、草のお堂ができていて、そこに観音様を祀った。祀ったのが十童子、十の童（わらべ）がお堂を作って祀ったんですな。それと同時に一夜のうちに、千株の松がざあっと植えられたといわれます。この辺がどうも縁起らしいところですよ。他にもいっぱいあるんですよ、観音様が網にかかった時にキジの大群が上空をぐるぐる舞ったって言うんですな。羽を広げて観音様を守ったって言われてる。浅草の人間は、キジは観音様の守り神なんだから食っちゃいねえって言って、私もキジは食べません。だから浅草寺ではキジを大事にしましてね、今でもお厨子、わかりますでしょ？

屋根があって、本堂の真ん中に観音様をお祀りしているところがあるでしょ。その屋根の下を見てください。キジが逆さまに下を向いているのがわかります？ 羽を広げて（図3）。これをキジのお厨子っていうんです。これもいかに縁起らしい話ですよ。こうい



図3：浅草寺本堂キジのお厨子

う不思議な話というのがいくつも出てくるんです。そういう話ばかりしてるわけにも行かないんで先に進みますけども。

**村長の土師中知は  
どこに住んでいたのか？**

その草堂に祀ったご尊像を見て、これは聖観世音菩薩像だと言えたのは、中知という人は相当の知識の持ち主だったんですね。じゃあ中知の家はどこにあったのか。浜成と竹成は駒形堂の近くで舟を降りて上陸しているんですな。そりゃそうでしょう、家に遠いところに停めるはずがない。それに対して中知にはいろんな説がある。一つはやはり駒形堂の近くだっという説。一つには浅草寺の境内から隅田川の方に出てくる江戸通りの辺りに、一の権現社というのが昔あったんですね。古い地図なんかを見ると必ず出てきます。ところがどんな地図を見ても、二の権現、三の権現というのは出てこない。三社祭の神輿には一之宮、二之宮、三之宮とある。一之宮にお祈りしているのが一の権現、これが中知です。二之宮は浜成、三之宮は竹成の御霊を担いでいるということになるわけです。ここに一の権現社があるということは、中知の家はここだったんじゃないんですかという説。他にもまだいろんな説があって、どれだかわかりません。

ただ僕なりに推測するのは自由ですから。僕が推測するので言うと、中知も浜成と竹成

も、当時は普通の村長と漁師ですけど、後に浅草神社に祀られるようになると、権現様として神様になっちゃうわけですね。神様になると「なんとかの命（ミコト）」と名前が変わる、命っていう字が付くんです。中知の神様としての名前は、土師真土命（はじのまつちのみこと）っていうんです。ここまではわかりますね。

地図を見ると、ここに聖天様がある。聖天様は正式には、待乳山聖天様といいますね。待つという字にお乳の乳と書くんですけど、江戸時代の地図なんかを見ると真土山と書いてる時代があるんです。そう考えるとこの聖天様と一の権現社って近いんですよ。しかも当時は今みたいに家は密集していません。だからこの一画が村長の屋敷であってもおかしくないんじゃないかと僕は思っています。それから当時、「長」と呼ばれる人は高台に住んでいたんですね。あまり平地のところには住んでなかった。聖天様も少し高いんです。江戸時代は月見の名所で、お月見というのは高いところをするもなんですね。ですから僕はこの説が正しいかなと思っています。

ちょっと脇道にそれますが、みんな月見団子ってどれくらいの大きさ知ってます？

これくらいのピンポン玉くらいと思いませんか？昔の月見団子っていうのは野球ボールくらいの大きさなんです、けっこう大きいんです。あと、すすきを飾るのは江戸だけだそうです。関西の方はすすきは飾らないらしい。あれは憑代（よりしろ）と言いましてね、お正月の門松と一緒に、少し高くなったところに神様が宿るということです。すすきを飾るんです。

### 勝海上人の手で 秘仏になった観音様



さて、この3人が最初に観音様に関わった人です。それで中知がすぐに、せっかくの観音様をこんなもったいないことしてちゃいけないってことで自分の屋敷を寺に改造する

んです。そして自分も出家するんですね。ただこれは正式な出家ではないみたいです。お坊様が認めないと正式な出家とは言わないんで、中知の場合は本人が出家したと言っているだけなんです。今でも浅草神社の中に中知の像があって、お坊さんの格好をしています。私は見てませんが。

十人の童子たちの子孫によって行なわれているのがびんざさら舞（三社祭で行なわれる舞の一つ）です。今は町内の人たちなんかと一緒にやってますが、つい江戸時代までは、十人の名前も現住所もはっきりしてたんですね。戦争の時には三人くらいになっていたのかな。この十人の子孫によってびんざさら舞が行なわれる。びんざさら舞っていうのは田楽舞です。だから当時、浅草で農業が行なわれていたことがわかる。それから漁業が行なわれて、村長がいた。完全に一つの街ですね。その頃から浅草は、辺鄙なところではなく街としての体をなしていたということがわかります。そして中知の家を寺にしますが、観音様がそこにあったのはわずか17年間だけ。その後645（大化元）年には現在の浅草寺の場所に移動したということです。中知さんもそんなに長生きはしてないんですね。

移った頃、浅草寺のところに勝海上人という人が立ち寄った。観音像を見て「これはすごいものだから見ちゃいけないよ」とおっしゃって、それで秘仏になったんです。秘仏ということで観音様はほとんどみんな見たことがありません。

### 何だかおかしそ 今のお賽銭やお参りの仕方



それから平安初期の天安元年、857年、浅草寺中興の祖と言われる慈覚大師が、本物を見せるわけにはいかないからということで、聖観音像を模して仏像を彫ります。それがこないだの御開帳（2008年の本堂落慶50年記念の大開帳）の時も、お厨子の前にどーんと立ってたお前立ち観音です。この御開帳の時

の写真に、お塔婆が3本ありますね（図4）。この奥に続いていくと、観音様のお堂の中に、お前立ち観音の指から結わえられた紐がずっと出ていて、お塔婆を通って一番手前側に晒の紐になって垂れ下がっている、その晒をつかむと観音様と間接的に握手をしたことになる。大変ありがたいもんです。

でも何ですかね、こないだの御開帳の時も、何か晒が垂れてるのの全部をつかまないとご利益がないと思っている人が多くてですね。あれ、ホントは何人かが同時に持てるように分かれて置いてるんですけどね。

あと最近、三社様でも観音様でも真ん中でお参りしないと気が済まないんですね。私らが子供の頃は、お賽銭箱の前で並んでいた記憶なんてないです。お賽銭でも遠くの方から投げたね、銭形平次じゃないけれどもね。勧進帳の弁慶の石投げの見得かというくらいにね。そういうもんなんですよ。それを今はなぜか、みんな並んでるんですね。時間がかかってしょうがない。いろんな人がもっともって通りがかりでも何でもお参りできるのが仏教だと思ってるんですけどね。みんな忙しくて、そんな並んでる時間なんてないですよ。なのにお賽銭投げるとヤな顔する人がいて、こっちが悪いのかなって思ってしまう。悪くもなんともないです。並ぶ方が間違ってるって僕は思うんですけどね。

### 誰も見ていない秘仏 観音様はどんなお姿？



慈覚大師がご本尊を模して彫ったのが御前立ち観音であり、柳の御影です。柳の御影っていうのは版木です。観音様を彫ったものを木版で紙に刷ってあって、お正月には御札（おふだ）になるんです。これを柳の枝を割ったもので挟んであるので、柳の御影なんです。版木は柳じゃないですよ。

ところで、「模して」と再三私は言っています。ご秘仏を見ないで模することはできない。慈覚大師くらい位の位になると、秘仏を見ても



図4：御開帳時の境内

いいのかもしれませんが、これはわかりません。私は見るだろうと思っています。

でもそれから後はずっと誰も見ていません…とされています。明治2年に神仏分離の動きが始まるんですけど、観音様にも1871（明治4）年6月18日に神祇官という人が6人来たんです。この神祇官たちは日本全国の秘仏を検め（あらため）て、浅草寺の観音様も開けて見せろと迫ったんです。あれは秘仏ですから開けられませんかと言うと、「拒むのなら浅草寺はそのままなす」と言われて。仕方ないから浅草寺のお坊さんは全員別室に行って見てない状態にして、神祇官6人が開けて見た、とされています。

するとその中の1人が須弥壇から転がって怪我をして、その怪我がもとで数年後に亡くなったらしい。それからほとんどの人が不思議な死に方をしてるんです。あつという間に亡くなっちゃうらしい。それを見ているうちに一人が怖くなっちゃって、観音様の力というのはすごいんだなと実感したようです。それで観音信仰に励んで一人だけ長生きした人がいるんですけどね。

それから50年くらい後、関東大震災で、浅草寺の本堂が傷んだために修理することになったわけですね。大修営を行なって、出来上がった時に、一人の老婆が浅草寺を訪ねてきて、「実は私の祖父がその時の神祇官でした」と。祖父はそこで見たものを全部デッサンする役目で、そのデッサンしたものがうちにあったんで、ちょうど御開帳の最中だ

というんで持ってきたと言うんです。

### 観音様が1寸8分といわれるのは誤り



絵ですけどね、それを見た方の話によると、手足がだいぶ傷んでいたそうです。それから大きさが二尺（60.6cm）ちょっとというお話でした。けっこう大きいですね。世間的には1寸8分（約5.4cm）の金無垢というように言われてますよね。「1寸8分」というのは護持仏、持って歩く仏像の大きさと、徳川家康とか、公遵（こうじゅん）法親王なんか護持仏を持っていたそうです。法親王というのは、天皇陛下の弟さんとかが増えちゃって、出家してお坊さんになった人のことをいいます。その法親王が上野の寛永寺にいましてね、「上野の宮様」なんて言われた人ですけど、この人の護持仏が1寸8分だったそうです。

それから長野県の方が浅草の観音様をお参りしたくてもなかなかできない代わりに観音様を長野にお運びしたり、反対に東京の人が善光寺をお参りできない代わりに東京にお運びしたりするのを出開帳といえます。そういう時に秘仏は持っていけないので、護持仏を持っていったことがあって。それが1寸8分というのが頭に残っていたんで、いつのまにか観音様は1寸8分だということになってしまったようです。でも浅草寺は一度もそういうことは言ったことがないと言っています。「小兵でも坂東一の菩薩なり」なんて川柳がありますね。昔の舞の海みたいなもんですね。それから「三人が六分ずつ引く宮戸川」とか「人なれた鳩が一寸八分逃げ」なんて、川柳には何度も1寸8分って出てくるほどですが、それはみんな勘違いなんです。

それと、木製であるとも伝えられています。そこにたぶん当時は金の箔押しをしてあったであろうと。

公開はできないんですけど、浅草寺では毎年3月18日のご縁日だけ、一山（同じ境内にある本寺、末寺など全てを含めた寺院の総

称）のご住職だけがこれを拝んでいるそうです。大変見たいんですけども、私も拝んでいません。秘仏の観音様は、ご住職にならないと見る事ができないんです。

### 観音様は実在しない？ そんなことはありません



だけれども、必ずあのお厨子の中にあるんです。「実は無いんじゃないの」という人もよくいますけど。そういう人は「戦争の時は観音様はどこにあったの？」と言うんですね。本堂とかみんな燃えちゃいましたからね。

でも空襲を逃れたんです。皆さん、本堂の前に青銅でできた天水桶を見たことがあると思うんですけど、戦時中はあの桶の中に観音様を入れておいて、本堂の真下に埋めておいたんです。それを後から掘り出して、ご本尊は無事だったようであります。逆に浅草神社はお宝がいっぱいあって、社殿の中じゃ危ないからと神輿蔵の中に移したんです。そうしたら神輿蔵に焼夷弾が落ちて、お宝は燃えちゃって、社殿の方は助かった。余計なことしなきゃ良かったんですよ。それで国宝の神輿7基が全部燃えてしまったわけです。先ほど言った中知さんの像なんかは社殿にあったんで助かって、今も社殿の中にあります。

それにしても、わずか3mくらい掘ったところですよ、そこに埋めておいた観音様が無事なんだから、運命というのはわかりません。この中に浅草寺本堂の内陣を参拝した方いらっしゃいます？ 本堂の右っ方から入って、ぐるっと観音様の裏を通ってまた出てくるんですけれども。この観音様の裏のところに裏観音といわれる仏像があるんですね。その仏像をどけると鍵がしまっていてあって、お厨子の中から観音様を運び出すことが出来る。もし何かあった時には裏から逃がすことができるそうです。お寺もいろいろ考えているんで、万が一何かあったとしても、安心していいかなと思っています。

(次号に続く)

# ウチのイチオシ!

## 常 寿 司

### 江戸前づくし



戦前に屋台の寿司店として始まった常寿司。イチオシの「江戸前づくし」(1900円)は、当時の鮓を再現した、他ではなかなかお目にかかれぬ逸品。「塩や酢でめる、煮る、焼くなど、一つ一つの鮓種に仕事を施し、生魚では味わえない味を一皿に集約しています」と三代目店主の上原宏史さん。最初からこのメニューを求めてくるお客様も目立ち、リピーターも多いそう。「歴史のある浅草で、古き良き時代の雰囲気と味を楽しんでいただければと思っています。肩ひじ張らない、和める雰囲気でお迎えます」。

お店の紹介は P.21

地図 P.16-C1

電 03-3844-9955

営 11:30~21:00  
(休憩なし)

住 台東区浅草1-15-7

休 月曜日

<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tsuneshi.html>

## 三ツ福ハシモト

### すしTシャツ (3Dプリント・日本製)



ホンモノのお寿司に続いて紹介するのは「すしTシャツ」。大正3年創業の婦人服の老舗・三ツ福ハシモトのイチオシ商品です。最近ますます増えてきた外国人観光客向けに仕入れたそうですが、「外国人の方はもちろん、若い女性も買っていかれ、お客様の新規開拓につながりました」と店主の橋本秋洋さん。これを着て外国旅行に出かけたら注目を浴びること請け合いです。「着る時は堂々と着て下さい!」とのアドバイス。高級毛皮からTシャツなどの軽装、ガチャガチャまで幅広い品揃えで見応えのあるお店です。

お店の紹介は P.26

地図 P.14-A2

電 03-3844-3441

営 10:30~19:30

住 台東区浅草1-30-6

休 不定休

<http://blog.livedoor.jp/mitsufukuhashimoto/>



### 浅草寺境内石碑ガイド 浅草寺境内の主だった句碑・顕彰碑

- 1 川口松太郎の句碑**  
「生きるということは、むずかしき、夜寒かな」と刻む。
- 2 久保田万太郎の句碑**  
「竹馬やいろはにほへとちりぢりに」と刻む。
- 3 市川猿翁の句碑**  
「まだ身にそはず衣がえ」という三代目市川猿之助の句を刻む。
- 4 河竹黙阿弥顕彰碑**  
歌舞伎狂言作者・河竹黙阿弥を顕彰して、台東区が建立した。
- 5 中村吉右衛門の句碑**  
「女房も同じ氏子や除夜詣」と刻む。
- 6 並木五瓶の句碑**  
「月花のたわみころや雪の竹」と刻む。
- 7 山東京伝机塚の碑**  
江戸時代後期の戯作者・山東京伝の愛用した文机が埋められた上に建てられたとされる碑。
- 8 釘供養碑**
- 9 団十郎「暫」の像**  
九代目市川團十郎の歌舞伎十八番「暫」の像。
- 10 映画弁士塚**  
無声映画時代の名弁士たちを記念して建立。
- 11 半七塚の碑**  
捕り物小説の生みの親である岡本綺堂を記念して建立。
- 12 三匠の句碑**  
宗因・芭蕉・其角という三人の佳句を刻む。
- 13 正岡子規句碑**  
「観音で雨に逢いけり花盛」と刻む。
- 14 芭蕉像と句碑**  
「くわんをんのいらか見やりつ花の雲」の句を上部に、下部に松尾芭蕉の座像を刻む。
- 15 旧五重塔跡碑**

## 浅草中央エリア

●…食べる ●…買う ●…その他



## 中央部会員店

- 1 神谷バー
- 2 雷門 三定
- 3 もんじゃ こばやし
- 4 浅草うまいもん あづま
- 5 かと里
- 6 名代ら一めん 与ろみ屋
- 7 浅草 鮨よしだ
- 8 釜めし 麻鳥
- 9 炭火会席 蔵
- 10 お好み焼き 一丁目
- 11 和風居酒屋 魚菜
- 12 天ぶら 葵丸進
- 13 三角
- 15 喫茶クラウン
- 16 鉢の木
- 17 尾張屋
- 18 弁天山 美家古寿司
- 34 手焼きせんべい 和泉屋本店
- 35 手焼きせんべい 和泉屋観音通り店
- 36 浅草きびだんご あづま
- 37 諸国名産珍味 熊野屋
- 38 おもちゃのサワダ
- 39 婦人・子供服 東京モード
- 40 組紐 桐生堂
- 41 のれん べんがら
- 42 手焼きせんべい 和泉屋仲見世店
- 43 てぬぐい ふじ屋
- 44 あげまんじゅう 浅草九重
- 45 常盤堂雷おこし本舗
- 46 刃物 かね惣
- 47 舞扇 文扇堂雷門店
- 48 舞扇 文扇堂仲見世店
- 49 ミドリ屋
- 50 毛皮・婦人服 ミツ福ハシモト
- 51 よのや櫛舗
- 52 よ兵衛
- 53 バッグ マツモト
- 54 和装履物 浅草辻屋本店
- 55 浅草の保健室ネオ
- 56 江戸金銀工芸もり銀
- 57 コマチヘア
- 74 村石電気工事

## 浅草北部エリア

●…食べる ●…買う



## 北部会員店

- 19 和風れすとらん若
- 20 レストランいんど・だもおれ
- 21 料亭 都鳥
- 22 すし処 清司
- 25 料亭 浅草田甫 草津亭
- 58 祭礼用具 宮本卯之助商店本店
- 59 株式会社製菓川喜多

## 山谷堀



山谷堀はかつての吉原への道筋の一つ。柳橋で猪牙船を仕立てたお大尽は、隅田川を上って今戸橋から山谷堀を抜けて吉原へ通った。現在、堀は埋め立てられたが、堀端の桜は当時の名残を残し、今日も桜の名所として知られている。

## 浅草富士浅間神社



毎年7月1日の富士の山開きで有名な浅間神社(せんげんじんじゃ)は、地元の人から「お富士さん」の愛称で親しまれている。江戸時代に各地に広がった富士浅間神社の信仰だが、浅草富士浅間神社は静岡県富士市から元禄年間に分社したもの。本殿外観は平成9年から10年の改修工事によって漆喰塗りが施されているが、内部には明治11年に建築された土蔵造りが残されている。毎年5月最終土日と6月最終土日に植木市が開かれ、浅草の年中行事として賑わいを見せる。

## 待乳山聖天



待乳山聖天(まつちやましょうてん)は、正しくは待乳山本龍院という。境内のいたるところに大根と巾着を組み合わせた比翼紋があるが、これは健康増進などを祈願する聖天信仰の現れとされる。毎年恒例の大根まつりには多くの信仰者が訪れる。

昔は待乳山の手前に隅田川が流れ、東都随一を誇る眺望の名所として知られた。現在はその眺めは見られないが、江戸末期に作られた長さ25メートルに及ぶ築地堀などが往時をしのぼせる。



### 西部会員店

- 23 常寿司
- 24 天麩羅 中清
- 26 居酒屋 TAKEYA
- 27 すき焼 浅草今半
- 28 どぜう飯田屋
- 29 中国小菜 龍園
- 57 コマチヘア
- 60 デイジー
- 61 渡辺眼鏡商店
- 62 演劇・舞踊小道具 すずや
- 63 足袋・祭用品 めうがや
- 64 祭礼用具 宮本卯之助商店西浅草店
- 65 ヤマダの家具
- 66 今昔きもの籠巳(胡蝶)
- 67 まつもと履物店

### 江戸下町伝統工芸館



ひさご通り内にある洒落たたずまいの江戸下町伝統工芸館は、台東区の手仕事に生きる職人さんの技術・技法を紹介する文化施設。実演のスケジュールは、ホームページをご覧ください。  
<http://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/shigoto/jibasangyo/kogeikan/index.html>

### 久保田万太郎生誕の地



久保田万太郎は、明治22年11月7日にこの地に生まれ、大正3年慶応義塾大学文科を卒業するまでの26年間在住。昭和38年5月6日に永眠するまで、明治・大正・昭和の三代に亘り、下町の義理と人情を描写した小説・戯曲等を発表し、文学・演劇界に多大な功績を残した。

### 南部会員店

- 30 シーフードレストラン 月見草
- 31 ロシア料理 マノス
- 32 うなぎ 初小川
- 33 茶寮 一松
- 68 和菓子 龍昇亭 西むら
- 69 生花 花鈴
- 70 市川とうふ店
- 71 木彫 宗府
- 72 書道用品 宝研堂
- 73 ゴルフ グリーンジャケット
- 75 ホテルサンルート浅草

### 駒形堂



駒形堂(こまじょう)は、浅草寺のご本尊が隅田川から示現され、上陸された地に建てられたお堂で、浅草寺の発祥の地ともいえる。現在は、ご本尊として馬頭観音が祀られている。

### 岡崎屋勘六(勘亭流元祖)の墓



西浅草一丁目にある清光寺の境内に、勘亭流の元祖といわれる岡崎屋勘六(文化2年2月3日に59歳で没)の墓がある。勘六は、延享3年に江戸に生まれ、日本橋で書道塾を開いていた。号を勘亭といひ、安永8年に中村座新春狂言の看板を書いたことが評判を呼び、芝居文字として勘亭の書いた文字(勘亭流)が主流となったという。

### はなし塚



田原町駅近くの本法寺境内にある落語ゆかりの珍しい石碑。大戦中に各種芸能団体が演題を自粛した際、落語界でも演題の花柳界・酒・妾などに関する落語53種を禁演落語とした。はなし塚は、中に含まれた名作と先輩の霊を弔うために建立され、この塚の下には禁演落語の台本が納められた。戦後の昭和21年9月には、塚の前で禁演落語復活祭が行われた。

# 浅草槐の会・会員店紹介



## 1 神谷バー (雷門通り)

ビアホール、レストラン、割烹 地図 P.14-C1



明治13年創業、明治45年「神谷バー」と屋号を改めた日本で最初のバー。名物デンキブランとともに皆様にご愛顧頂いております。お一人様には1階が、グループのお客様には2階レストラン、3階割烹がお勧めです。

電 03-3841-5400  
住 台東区浅草1-1-1  
営 11:30~22:00(L.O 21:30)  
休 火曜日



<http://www.kamiya-bar.com/>

## 2 雷門 三定 (雷門通り)

天ぷら・和食 地図 P.14-C1



創業以来江戸前天ぷらの味を守り百六十余年。胡麻のきいた黒っぽい天ぷらですが、あと味が軽いのが身上です。店も仲見世の入口にあり、ご散策に大変便利。季節ごとに変わる旬の天ぷらに江戸の粋を御堪能下さい。

電 03-3841-3200  
住 台東区浅草1-2-2  
営 11:30~22:00(L.O 21:30)  
休 無休



<http://www.tempura-sansada.co.jp>

## 3 こぼやし (浅草メトロ通り)

お好み焼き・もんじゃ 地図 P.14-C2



当店が自信を持ってお勧めするオリジナル新商品「焼もんじゃ」。お好み焼き・もんじゃ・焼そば?独特な食感を是非お試し下さい。その他、ボリューム満点、豊富なメニューを取り揃えてお待ちしております。

電 03-3847-6733  
住 台東区浅草1-34-4  
営 平日11:30~23:00  
土日祝11:30~22:00  
休 無休



<http://www.monja.co.jp/>

## 4 浅草うまいもん あづま (新仲見世通り)

和食・寿司・甘味 地図 P.14-B2



なつかしい味の町下料理(和食、江戸前寿司、オムライス、自家製甘味...)を是非お楽しみ下さい。二階の掘りごたつ席での御宴会も大好評です。

電 03-3841-0190  
住 台東区浅草1-32-1  
営 平日11:00~21:00  
土日祝10:30~21:00  
休 無休



<http://aduma.tokyo>

## 5 かとり (新仲見世通り)

食処・茶処 地図 P.14-C2



トレードマークのダイナミックな滝を眺めつつ2階へ上がると、和モダンな空間。みつ豆や白玉、おしるこ、パフェなど、種類豊富な甘味をご用意しております。浅草散策のひとつをお過ごしください。

電 03-3841-7400  
住 台東区浅草1-1-11(2F)  
営 11:00~20:00(L.O 19:30)  
休 木曜日



<http://asakusa-ryoin.jp/katori/>

## 6 名代らーめん 与ろゑ屋 (伝法院通り)

らーめん 地図 P.14-B2



醤油らーめん発祥の地、浅草昭和30年代に店主がここで毎日食べていた日本蕎麦屋のらーめんを再現しました。煮干・かつを節のかおり漂う昔ながらの和風らーめんを下町の風情と共に楽しみ下さい。

電 03-3845-4618  
住 台東区浅草1-36-7  
営 11:00~20:30  
休 無休  
<http://www.yoroiya.jp>



## 7 浅草 鮪よしだ (馬道通り)

寿司 地図 P.14-C3



「こだわらないのにこだわりたい鮪づくり」日本の旬を浅草で...全国津々浦々の旨い魚にこだわり、江戸前の仕事(煮蛤、鮪のづけ等)にこだわり、そしてお店よりお客様にこだわって頂きたい楽しい鮪屋です。

電 03-3845-7557  
住 台東区浅草2-1-14  
営 11:30~14:00  
17:00~24:00  
休 日曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/yoshida.html>

## 8 麻鳥 (公会堂横通り)

釜めし・串焼き 地図 P.14-B2



新潟県下田町より直送の100%コシヒカリを新鮮な素材と共に一釜づつ心を込めて炊き上げます。地鶏串焼も福島の伊達鶏を紀州備長炭で丁寧に焼き上げます。大切な方々のおもてなしにどうぞごゆっくり御賞味下さい。

電 03-3844-8527  
住 台東区浅草1-31-2  
営 11:00~22:00(L.O 21:00)  
休 無休



<http://asa-kusa.jp/asadori>

## 9 蔵 (公会堂横通り)

炭火焼会席 地図 P.14-B2



旬の素材を使ったお勧めの炭火焼会席コース、牛肉は和牛の特選焼物コース、アラカルトでは三陸産の鮑や伊勢海老などもございます。季節によって変わる焼魚も絶品です。焼物は全て炭火焼きで召し上がって頂きます。

電 03-3847-1129  
住 台東区浅草1-30-10  
営 11:30~23:00(L.O 21:00)  
休 無休



<http://asa-kusa.jp/kura>

## 10 一丁目 (雷門柳小路)

お好み焼き 地図 P.14-A1



新しい味の発見です!お好焼きをわさび醤油・ボン酢・抹茶塩などでお召し上がり下さい。もちろんソースも自家製ですから食べ比べてみては? 当店の材料は全て純国産品です。

電 03-3845-7566  
住 台東区浅草1-21-2  
営 火水木12:00~15:00/17:00~22:00  
金17:00~22:00  
土日祝12:00~21:00



休 月曜日ただし祭日の場合は火曜日  
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/icchome.html>

## 11 魚菜 (雷門柳小路)

和洋居酒屋風レストラン 地図 P.14-A1



魚菜ではテレビでも紹介された三陸産のアワビの肝ソース焼きが大人気です。一品およびコース料理もごございます。大小のご予約を承っております。今話題の焼酎、黒糖・芋・麦・米も取り揃えております。

電 03-3842-1919  
住 台東区浅草1-17-9  
営 平日17:00~23:30  
日祝日12:00~22:30



休 無休  
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/uosai.html>

**12 葵丸進 (雷門通り)**

天麩羅、季節料理、寿司 地図 P.14 - A1



「旬の肴に天麩羅でちよいと一杯」季節料理に天井・天麩羅、お椅子席・お座敷席・個室席。お好みのスタイルでおくつろぎください。浅草に行きつけない天麩羅屋はいかがですか。

電 03-3841-0110  
住 台東区浅草1-4-4  
営 11:00~21:00 (LO20:00)  
休 第2・4月曜日 (祝日の場合は翌日)  
<http://www.aoi-marushin.co.jp/>



**13 三角 (浅草中央通り)**

ふぐ 地図 P.14 - A1



明治35年(1902)の創業以来、日本料理店として気取らず下町の味を守りたいと努力しております。ふぐさし、ふぐちり、煮凍り、唐揚、ひれ酒、白子、特に11月頃からの白子焼、白子刺身は大人気の逸品です。是非一度ご賞味下さい。

電 03-3841-7650  
住 台東区浅草1-20-7  
営 13:00~22:00 (LO21:00)  
休 水曜日、正月、お盆は不定休あり  
<http://www.asakusa-fugu.com/sankaku.htm>



**15 喫茶クラウン (観音通り)**

喫茶・軽食 地図 P.14 - C1



浅草駅からすぐの昔ながらの喫茶店。真心こめて淹れたコーヒーを是非ご賞味ください。モーニングセットはトーストセットとホットケーキセットの2種類。甘くてフワフワのホットケーキは人気の一品です。

電 03-3841-7500  
住 台東区浅草1-2-13  
営 8:00~18:30  
休 火曜日 (祝日の場合は営業)  
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/crown.html>



**16 鉢の木 (公会堂東通り)**

甘味・喫茶 地図 P.14 - C2



浅草寺に詣で、心躍る浅草の賑わいを巡る。熱気に煽られしばしの休息。あんみつ、おしるこ、いそべ巻き…。甘味を口にホッとひと息。夏のかき氷も人気です。くつろぎの和の空間にお立ち寄りください。

電 03-3843-6755  
住 台東区浅草1-34-7  
営 11:30~18:00  
休 水曜日  
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/hachinoki.html>



**17 尾張屋**

日本そば 地図 P.14 - C1



百五十年の長きにわたり、地元浅草の方々、観音様を参拝の皆様にも愛されてきた老舗です。店内にある「浅草寺御用達」の看板は、浅草とともに歴史を歩む尾張屋のささやかな誇りです。そば粉は信州産を中心に、最高の国産粉を使用。本かつお節のつゆ、特注の胡麻油で揚げた天ぷらは、コクがあってさっぱりとしたあと味でご好評をいただいています。

電 03-3845-4500  
住 台東区浅草1-7-1  
営 11:30~20:30  
休 金曜日  
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/owariya>



**18 弁天山 美家古寿司**

寿司屋 地図 P.14 - C3



創業慶応2年(1866年)。酢飯、仕事を施した寿司ダネ、新鮮な山葵と煮きり醤油、この4つのバランスによって寿司の美味しさを最大限に引き出す。江戸前すしの本来の仕事、にぎり、ツメ、ツケ、酢メ、昆布メなど、古典的技法を今もなお頑に守り続けております。

電 03-3844-0034  
住 台東区浅草2-1-16  
営 月~土 11:30~14:30 (LO 14:00)、17:00~21:00 (LO 20:00) 日祝 11:30~18:30 (LO 18:00)  
休 月、第3日曜日 <http://benten-yama-miyakosushi.com>



**19 和風れすとらん若 (浅草猿若町町会事務所側)**

洋食レストラン 地図 P.15



江戸の名残の和風作りのお店で、洋食と色々なお酒をお楽しみください。特製ヒレカツサンドと、のりカツロールはお子様からお年寄りまで喜んで頂けるお土産に大人気です。(不定休の為、必ずお電話で御予約下さい。)

電 03-3876-2500  
住 台東区浅草6-20-2  
営 17:00~21:00  
休 不定休  
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/waka.html>



**20 にいど・だもおれ (浅草猿若町市村座跡)**

レストラン 地図 P.15



昔の市村座の跡にあるお店です。夜は新鮮な魚介類のお料理で(活タラバガニ等)、お仲間だけの空間をお楽しみ下さい。

電 03-3874-7561  
住 台東区浅草6-18-13 小竹猿若町レジデンス1階  
営 ランチ11:00~14:00、ディナー1日1組予約のみ17:00~22:00  
休 日祝、第2・3土曜日  
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/nidodamore.html>



**21 都鳥 (浅草観音裏)**

料亭 地図 P.15



江戸開府四百年、だからこそ江戸の昔を体験してみませんか。花柳界の楽しさをもっと知って頂きたいと、江戸の遊びのコースを考えました。お客様には和服でお越し頂くなど、一緒に御趣向を楽しみませんか。

電 03-3874-2175  
住 台東区浅草3-23-10  
営 18:00~ 要予約  
休 土日祝日  
<http://asakusa-miyakodori.com>



**22 すし処 清司 (浅草観音裏)**

寿司 地図 P.15



すしは日本の食文化。にぎる人の心がお客様に通ってこそ本物だと思います。特に江戸前の小肌、蛤、鰯は逸品です。鮎はもちろん本まぐろです。一味も二味も違うお寿司を是非ご賞味くださいませ。

電 03-3872-7275  
住 台東区浅草3-22-12  
営 月~土 17:00~25:00 祝日18:00~24:00  
休 日曜日  
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/seiji.html>



**23 常寿司 (たぬき通り)**

寿司 地図 P.16 - C1



屋台の鮓屋が提供していた昔懐かしい鮓。その味を、今も変わらず作り続けています。肩肘を張らずに、気軽に江戸前寿司を楽しみたい方、お奨め致します。是非お越し下さい。

電 03-3844-9955  
住 台東区浅草1-15-7  
営 11:30~21:00 休憩なし  
休 月曜日  
<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tsunezushi>



24 中清 (オレンジ通り)

天ぶら会席 地図 P.16・C2



数寄屋造りの離れ座敷で昔から変らぬ味の江戸前天麩羅をごゆっくりご賞味下さいませ。

電 03-3841-4015  
住 台東区浅草1-39-13  
営 平日11:30~14:00, 17:00~22:00 土日祝11:30~20:00  
休 火曜日、第2、第4月曜日  
http://www.nakasei.biz/



25 浅草田南 草津亭 (観音裏言通り)

料亭 地図 P.15



明治5年創業、江戸の歴史を今に伝える割烹料亭。この度10月に移転オープンいたしました。カウンター席での季節のおまかせ料理の他、本格会席をご用意しております。浅草芸妓もお待ちしております。

電 03-6802-3091  
住 台東区浅草3-18-10  
営 11:30~14:30(L.O13:30) 17:30~22:00(L.O20:00) パータイム21:00~23:00  
休 不定休  
http://www.kusatsutei.jp/



26 TAKEYA (浅草ひさご通り)

居酒屋 地図 P.16・B3



昔からひさご通りは六区興行街から千束吉原に向かう人で賑わう商店街でした。当店はお子様からお年寄りまで、気楽に入れて来て良かったと思われるお店を、従業員一同心がけております。大小予約承ります。

電 03-3841-6555  
住 台東区浅草2-25-5  
営 平日12:00~23:00 土日12:30~14:00, 17:00~23:00  
休 月曜日  
http://www.asakusa.gr.jp/shop/takeya



27 浅草今半 (国際通り)

すき焼、しゃぶしゃぶ、日本料理 地図 P.16・B2



厳選された黒毛和牛と秘伝の割り下で、焼くように煮るすき焼が浅草今半流。ランチタイムサービスの「明治すき焼丼」と「ステーキ丼」は、浅草の隠れ銘丼とも…。納得の味をお届けいたします。

電 03-3841-1114  
住 台東区西浅草3-1-12  
営 11:30~21:30  
休 年中無休  
http://www.asakusaimahan.co.jp/



28 どぜう飯田屋 (合羽橋本通り)

どぜう料理 地図 P.16・B2



磨き込まれた簾敷きに胡坐をかいてどぜう鍋一刻文豪気分です

電 03-3843-0881  
住 台東区西浅草3-3-2  
営 11:30~21:30(L.O 21:00)  
休 水曜日、祝物日は前後振替  
http://www.asakusa.gr.jp/shop/iidaya.html



29 中国小菜 龍圓 (国際通り)

中華料理 地図 P.16・B2



心を込めた手造り料理!食で幸福の味わい、「浅草に来て良かった、また来たい」、これが、龍圓のモットーです。本格中国料理からデザートに至るまで、心を込めて、お出し致します。

電 03-3844-2581  
住 台東区西浅草3-1-9  
営 平日12:00~14:00, 17:30~21:00 日祝12:00~14:00, 17:30~20:30  
休 月曜日(祝日の場合は火曜日)  
http://www.ryuen1993.com/



30 月見草 (浅草並木通り)

シーフードレストラン 地図 P.17・C2



魚介類を中心とした旬の食材を取り入れたシーフードレストラン。一番の人気を誇るのは鮑のステーキ、水槽の中で生きているものをすくって調理し丸ごと一つを鮑の肝で作った自慢のオリジナルソースをかけてどうぞ。

電 03-3841-8949  
住 台東区雷門2-11-8  
営 12:00~15:00 17:00~22:00(L.O 21:00)  
休 無休  
http://asa-kusa.jp/tsukimiso



31 マノス

ロシア風レストラン 地図 P.17・B2



「ロール・キャベツ?いや!キャベツ・ロールです」。創業以来、作り続けて35年。元祖キャベツ・ロールといえば浅草マノス。料理は良い素材と美味しいものを作るという気持ち!今一度、おた召しあ~れ~!

電 03-3843-8286  
住 台東区雷門2-17-4  
営 11:30~22:30(L.O 21:00) ただし平日15:00~16:30準備中  
休 火曜日  
http://www.asakusa.gr.jp/shop/manos



32 初小川 (雷門仲通り)

鰻蒲焼き 地図 P.17・B2



明治40年の創業以来継ぎ足し使っている辛口のタレを使った鰻は、注文を受けてからさばき、蒸してから焼く。江戸前風七輪の炭で焼いた鰻はムダな脂が落ち、身もふっくらやわらかで上品な味わいです。

電 03-3844-2723  
住 台東区雷門2-8-4  
営 平日12:00~14:00, 17:00~20:00 日祝17:00~20:00  
休 不定休  
http://www.asakusa.gr.jp/shop/hatsugawa.html



33 茶寮 一松 (万太郎横町)

会席料理 地図 P.17・B2



ご宴会に、季節の色で盛り付けされた茶寮一松での会席料理はいかがでしょう。お昼のミニ会席や料亭ウエディングプランなどもご用意しております。しばし浮世を離れ、浅草ならではの粋なひと時をお楽しみ下さい。

電 03-3841-0333  
住 台東区雷門1-15-1  
営 11:00~22:30  
休 月曜日・お盆・12月は不定休・年末年始  
http://www.ichimatsu.co.jp



34 和泉屋本店 (観音通り)

あられ、手焼せんべい、おかき 地図 P.14・C1



良質の食材(もち米・うるち米・醤油・天然塩等)を使った、あられ、手焼せんべい、おかきを製造しています。缶・和紙箱・竹籠の御進物セットが人気です。

電 03-3841-5501  
住 台東区浅草1-1-4  
営 10:30~19:30  
休 木曜日  
http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html



35 和泉屋観音通り店 (観音通り)

あられ、手焼せんべい、おかき 地図 P.14・C1



このところ、堅焼の人气が復活しています。天日干しの「厚焼せんべい」。もち米の「風神雷神」。堅焼の定番げんこつ等、リピーターのお客様が増えています。

電 03-3841-8385  
住 台東区浅草1-1-6  
営 10:30~19:30  
休 木曜日  
http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html



### 36 浅草きびだんご あづま (仲見世通り)

きびだんご 地図 P.14 - B1



江戸時代、観音様の参道・仲見世で繁昌した門前のきびだんごを再現しております。粋なにいさんと下町娘たちのきびだんご作りの実演もご覧下さい。夏の冷し抹茶や冬の甘酒も大評判です。

電 03-3843-0190  
住 台東区浅草1-18-1  
営 09:00~19:00  
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kibidango.html>

### 37 熊野屋 (観音通り)

諸国名産珍味 地図 P.14 - C1



ちょっと昔、よく食べたあの口が曲がるくらい塩辛い紅サケの切身、お茶漬け、お酒にぴったりの塩干ダラ、本場新島の本乾クサヤの干物等々が下町浅草でお求めいただけます。本場大産産の肉厚シタケも好評です。

電 03-3841-8089  
住 台東区浅草1-19-10  
営 10:00~18:00  
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kumanoya.html>

### 38 おもちゃのサワダ (新仲見世通り)

玩具一般 地図 P.14 - C2



昔ながらのオモチャヤです。ビー玉・面子・ペーゴマから、今話題のオモチャまで、品数豊富に取り揃えております。お値段もお勉強させて頂いております。皆様の是非の御来店をお待ちしております。

電 03-3842-7367  
住 台東区浅草1-33-3  
営 09:30~19:00  
休 水曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/omocha.html>

### 39 東京モード (新仲見世通り)

婦人・子供服 地図 P.14 - B2



婦人服・子供服から舞台衣装・ダンスウェアまで、最新デザインの商品をサイズ豊富に取り揃えております。お値段はサイズに優しい下町価格。普段のオシャレに、ダンスやカラオケの発表会に、ぜひご利用下さい!

電 03-3841-3915  
住 台東区浅草1-32-2  
営 10:00~19:30  
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tokyomode.html>

### 40 桐生堂 (浅草メトロ通り)

組紐、和雑貨 地図 P.14 - B2



当店は、商品も手作りですが内装も手作りで、材木を切ったりニスを塗ったり、気ままに楽しんでます。竹を買って店の外側に取り付けました。下に風知草を置いて、なかなか良く出来たと思っています。

電 03-3847-2680  
住 台東区浅草1-32-12  
営 10:30~19:00  
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kiryudo.html>

### 41 べんがら (浅草メトロ通りと仲見世柳通りの角)

のれん 地図 P.14 - B2



専門店ならではの品揃えで、柄・サイズも豊富に約500種類。のれんは部屋への入口に掛ける以外にも、タペストリー、カーテン、間仕切りとしても使えます。きっとお部屋にぴったりの1枚が見つかります。

電 03-3841-6613  
住 台東区浅草1-35-6  
営 平日10:00~18:00  
土日祝10:00~19:00  
休 第3木曜日



<http://www.bengara.com>

### 42 和泉屋仲見世店 (仲見世通り)

あられ、手焼せんべい、おかき 地図 P.14 - B2



約100種類のあられ、手焼せんべい、おかきを販売しています。江戸情緒あふれるパッケージ(江戸童(わらべ)絵・日本人形・雷門)の手土産が人気です。

電 03-3844-2687  
住 台東区浅草1-37-1  
営 10:30~19:30  
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/izumiya.html>

### 43 ふじ屋 (弁天山側)

てぬぐい 地図 P.14 - B3



四季の草花、歌舞伎、歳時記などのオリジナル染絵でてぬぐいを額装したインテリアや、江戸時代より「そめぎれ染布」として暮らしの中で使われてきた江戸小紋などで、てぬぐいを生かした粋な暮らしをお楽しみ下さい。

電 03-3841-2283  
住 台東区浅草2-2-15  
営 10:00~18:00  
休 木曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/fujiya.html>

### 44 浅草九重 (仲見世通り)

あげまんじゅう 地図 P.14 - B3



「浅草寺から三軒目」浅草九重はあげまんじゅうの実演販売のお店です。国産大豆を原材料とし、最高級のごま油を使用しています。日持ちのするお土産用のラインナップも充実し、国内はもちろんのこと、海外のお客様にも人気です。

電 03-3841-9386  
住 台東区浅草2-3-1  
営 9:30~19:00頃  
休 無休



<http://agemanju.jp>

### 45 常盤堂雷おこし本舗 (雷門通り)

雷おこしを主とする菓子 地図 P.14 - B1



今も変わらず下町ならではの粋や人情にふれあう事の出来る浅草において、下町の心・伝統の味を守り続ける常盤堂。江戸銘菓「雷おこし」家を「おこし」名を「起こす」という縁起の良いから長い間、浅草のお土産として親しまれております。

電 03-3841-5656  
住 台東区浅草1-3-2  
営 09:00~21:00  
休 無休



<http://www.tokiwado.tokyo>

### 46 かね惣 (雷門柳小路)

刃物 地図 P.14 - B1



プロ仕様から家庭用まで各種取り揃えております。創業(明治6年)以来、伝承されてきた古式鍛錬秘法の切れ味を一度お試下さい。また、ご婚礼祝い、仏事のお返しなどにもご利用ください。

電 03-3844-1379  
住 台東区浅草1-18-12  
営 11:00~19:00  
休 不定休



<http://www.kanesoh.com>

### 47 文扇堂雷門店 (雷門柳小路)

舞扇、うちわ等 地図 P.14 - B1



扇専門店として当代で四代。各流派の舞踊家、歌舞伎の役者さん、芸者さんや落語家さんなど多種多様な方にお越し頂いています。普通の扇や木版刷りの祝儀袋、うちわもあるお店です。気楽にお立ち寄りください。

電 03-3841-0088  
住 台東区浅草1-20-2  
営 10:30~18:00  
休 毎月20日過ぎの月曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/bunsendo.html>

**48 文扇堂仲見世店 (仲見世通り)**

舞扇、うちわ等 地図 P.14 - B2



雷門店同様に、古典芸能のプロの方をはじめ多くのお客様に御愛顧頂いております。普通の扇や木版刷りの祝儀袋、うちわなども御用意しておりますので気楽にお立ち寄りください。

電 03-3844-9711  
住 台東区浅草1-30-1  
営 10:30~18:00  
休 毎月20日過ぎの月曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/bunsendo.html>

**49 ミドリ屋 (公会堂横通り)**

舞踊衣装 地図 P.14 - B2



舞踊衣装のことなら当店にお任せ下さい。豊富な品揃えと驚きの低価格で、きっとご希望の品が見つかります。その他、お稽古着・反物も多数取り揃えておりますので、是非一度お立ち寄り下さい。

電 03-3843-1441  
住 台東区浅草1-30-11  
営 10:30~18:00  
休 毎月第2・4火曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/midoriya.html>

**50 ミツ福ハシモト (新仲見世通り)**

毛皮、革、婦人服 地図 P.14 - A2



当社は、大正3年毛皮専門店として浅草千束で創業。昭和20年に現在地に移転し、毛皮を中心に皮革製品、夏は麻・綿素材、冬はシルク・ウール・カシミア等の天然素材を活かした婦人既製服を扱っています。

電 03-3844-3441  
住 台東区浅草1-30-6  
営 10:30~19:30  
休 不定休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/hashimoto.html>

**51 よのや櫛舗 (伝法院通り)**

黄楊櫛、黄楊製品 地図 P.14 - A2



伝法院通りにあり浅草寺、六区方面から大変に便利です。小店舗ですがつけ櫛の種類も豊富で、また櫛やかんざしの使い方も丁寧にアドバイスさせて頂いております。是非一度御来店下さい。

電 03-3844-1755  
住 台東区浅草1-37-10  
営 10:30~18:00  
休 水曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/yonoya.html>

**52 よ兵衛 (仲見世通り裏)**

揚餅・お団子 地図 P.14 - B3



サクッと軽くお味はしっかり。昔懐かしい母の味「揚餅」を食べていただくため、無駄なものは一切加えず、素材で香ばしい味を再現しています。お味は生醤油やお、カレー、生醤油唐辛子など6種類。是非ご賞味あれ!

電 03-3841-0868  
住 台東区浅草2-2-7  
営 9:00~18:00  
休 不定休



<http://www.agemochi-yohei.com/>

**53 マツモト (新仲見世通り)**

カバン・バッグ・サイフ 地図 P.14 - A1



江戸の心意気を感じてもらおうと、半纏リュックを創りました。お手持ちの布地からのお仕立てを中心としています。あなただけの世界で一つのオリジナルリュックを作ってみませんか?お仕立て代1万円。

電 03-3842-2961  
住 台東区浅草1-21-8  
営 10:30~19:00  
休 不定休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/matsumoto.html>

**54 浅草辻屋本店 (伝法院通り)**

和装履物 地図 P.14 - B2



浅草花柳界をはじめ、和装にうろさいお客様に愛され育てられて百年目。長く履いても痛くならず疲れない、熟達した職人の技が生きた鼻緒のすげ。「浅草好み」の履物を豊富な品数で取り揃えております。

電 03-3844-1321  
住 台東区浅草1-36-8  
営 10:00~19:00  
休 無休



<http://www.getaya.jp/>

**55 浅草の保健室ネオ (馬道通り)**

クスリ 地図 P.14 - C3



一般薬、保険調剤、健康食品、ヒノキ肌粧品、NOV、WELLA、4711Portugalなどを扱っております。お店にない商品はお取り寄せも可能です。ぜひ、お気軽にご相談下さいませ。

電 03-3841-5329  
住 台東区浅草2-1-15  
営 10:00~20:00  
土10:00~18:00  
休 日曜祝日



<http://www.neo-ph.com>

**56 江戸金銀工芸もり銀 (オレンジ通り)**

銀製品全般 地図 P.14 - A2



日本の金銀工芸は西暦600年代より始まり、江戸時代に入って花開きました。現在もその時代からの手法を引き継いで、銀の食器類・アクセサリー等自家製作販売をしております。日本の伝統文化を表す品々と自負しております。

電 03-3844-8821  
住 台東区浅草1-29-6  
営 10:30~18:30  
休 無休



<http://www.asakusamorigin.com>

**57 コマチヘア (第一店・新仲見世通り、第二・三店・仲見世通り) かつら・頭飾品 地図 P.14 - B2, P.14 - B3, P.16 - C1**



大正14年創業以来、職人気質の「かつら」づくりに徹しています。日本髪から男女洋かつら、ヘアピース、余興かつら、かんざしまで、豊富に取り揃えております。舞台化粧品も、お気軽にご相談ください。

電 03-3841-8191 (第一店)、5523 (第二店) 7434 (第三店)  
住 台東区浅草1-28-3 (第一店)、1-31-1 (第二店) 2-3-1 (第三店)  
営 10:30~19:00 (第一店) 平日9:30~18:00、土日祝日9:30~19:00 (第二店) 9:30~18:00 (第三店)  
休 無休 <http://www.komachi-hair.co.jp/>

**58 宮本卯之助商店本店 (吉野通り)**

太鼓・神輿、祭礼用具 地図 P.15



文久元年(1861年)創業、伝統的な製法を頑なに守り続け、その華麗さ、堅牢さには定評があります。また、邦楽教室を行う「宮本スタジオ」や世界の太鼓資料館「太鼓館」など、様々な活動にも取り組んでいます。

電 03-3873-4155  
住 台東区浅草6-1-15  
営 9:00~17:00  
休 土日祝日



<http://www.miyamoto-unosuke.co.jp>

**59 株式会社製菓川喜多**

菓子製造、販売 地図 P.15



弊社は戦後まもなく川喜多忠之助により、おこし製造から始まりました。駅、高速SA等でおなじみの「東京サンド」等の問屋様への卸売り販売、老舗様のOEM製造を中心としてきましたが、現在では「浅草の菓子屋」になりきろうと、「浅草川喜多」の名前の洋菓子の製造・販売に重点を置いております。工場直販です。

電 03-3875-0013  
住 台東区浅草5-56-4  
営 9:00~17:00  
休 日・祝日(土曜日不定休)



<http://www.s-kawakita.co.jp>

60 デイジー (新仲見世通り)

バッグ、小物 地図 P.16-C1



魅力的な貴女をより輝かせるバックと小物。デイジーはそんな貴女にピッタリカラフルな品揃えで心までウキウキ間違いナシです。オリジナル品を中心としたオサイフや札入も個性的な貴女にピッタリ!特注・別注・修理も大歓迎です。

電 03-3847-8118 (FAX共通)  
住 台東区浅草1-22-10  
営 10:00~19:30  
休 不定休 2ヶ月に1回ほど



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/deiji.html>

61 渡辺眼鏡商店 (ためぎ通り)

めがね 地図 P.16-C1



創業明治20年の眼鏡専門店です。オリジナルフレーム、アンティークフレーム、眼鏡ケース、眼鏡チェーンなど他所には無いものをお探しの方はちょっと覗いてみて下さい。眼鏡修理も承っております。

電 03-3841-7466  
住 台東区浅草1-16-7  
営 09:30~19:00  
休 火曜日(祝日の場合は営業)



<http://www.watanabemegane.com>

62 すずや (西参道商店街)

演劇、舞踊小道具 地図 P.16-C2



時代劇や踊りに興味のある方、いろいろな小道具が並んでいます。近くにお出かけの時にはお気軽にお立ち寄り下さい。

電 03-3844-3798  
住 台東区浅草2-7-13  
営 10:00~18:00  
休 火曜日



<http://www.asakusasuzuya.co.jp/>

63 めうがや (言問通り)

足袋、祭用品 地図 P.16-C3



“めうがや”と書いて「みょうがや」。旧仮名で“どぜう”を「どじょう」と読むのと同じです。夏に麻足袋、柄足袋も多種揃っています。お祭には、オリジナルの祭用品で粋にキメて下さい。

電 03-3841-6440  
住 台東区浅草2-27-12  
営 10:00~19:00  
休 水曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/myogaya>

64 宮本卯之助商店西浅草店 (国際通り)

太鼓・神輿、祭礼用具 地図 P.16-B1



文久元年(1861年)創業、伝統的な製法を頑なに守り続け、その華麗さ、堅牢さには定評があります。また、邦楽教室を行う「宮本スタジオ」や世界の太鼓資料館「太鼓館」など、様々な活動にも取り組んでいます。

電 03-3844-2141  
住 台東区西浅草2-1-1  
営 9:00~18:00  
休 年中無休



<http://www.miyamoto-unosuke.co.jp/>

65 ヤマダの家具 (合羽橋通り)

家具・内装工事・リフォーム 地図 P.16-A2



飲食店のイス・テーブルの製造販売と内装工事を承っております。最近ではイスの張替、リフォーム工事等、大変好評です。お見積りはもちろん無料ですので、大小にかかわらずどうぞご相談ください。

電 03-3843-6656  
住 台東区松が谷3-2-12  
営 9:00~17:30  
休 日曜・祝日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/yamada>

66 今昔きもの 龍巳(胡蝶) (オレンジ通り・伝法院通り角)

着物 地図 P.16-C2



胡蝶では、大正・昭和のアンティーク着物から、最近のリサイクル着物・帯などを格安にて販売しております。また、本店・龍巳にて、日本舞踊の貸衣装・かつらのレンタルも承ります。

電 03-3843-7606  
住 台東区浅草1-39-11  
営 10:30~19:00  
休 無休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/kocho.html>

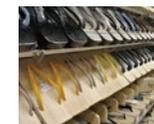
67 まつもと履物店 (浅草ひご通り)

和装履物専門店 地図 P.16-B3



自店で仕上げた草履、下駄、雪駄等を商う和装履物専門店。1899(明治32)年、浅草千束町二丁目にて創業。代々継承される職人技術と徹底した品質管理を経た、(株)まつもと履物店の和装履物をぜひ一度、お試しください。

電 03-3841-2461  
住 台東区浅草2-22-11  
営 10:00~20:00  
休 火曜日



<http://www.wasou-hakimono.com/>

68 龍昇亭西むら (雷門通り)

和菓子 地図 P.17-C2



看板の栗むし羊かんはもちろん、大桃山金龍、東京かすていら、昇り鮎など浅草の催事と、季節に因んだ品々は大人気です。創業は江戸中期と古く、安藤広重の「雷門前図」にもお店が描かれています。

電 03-3841-0665  
住 台東区雷門2-18-11  
営 09:00~20:00  
休 不定休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/nishimura.html>

69 花鈴 (雷門仲通り)

生花店 地図 P.17-B2



浅草の催事に合わせた商品を販売しています。また、お持ちのパソコンからお花の注文が出来ます。(http://www.fsonline.jp) 御注文の際にはプレミアムコード(KBA08900)を是非入力して下さい。

電 03-3845-1187  
住 台東区雷門2-8-4  
営 09:00~20:00  
日祝09:00~18:00  
休 不定休



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/hanasuzu.html>

70 市川とうふ店 (万太郎横町)

豆腐 地図 P.17-B2



浅草の老舗飲食店への卸を中心に、国産大豆にこだわり手作り豆腐一筋三代にわたるお店です。店頭での販売ではなく“おぼろ豆腐”が人気です。水にまったくさらさない、大豆風味豊かな味を一度御賞味下さい。

電 03-3841-1357  
住 台東区雷門1-14-3  
営 5:00~19:00  
13:00~16:00は休憩  
休 水曜日



<http://www.asakusa.gr.jp/shop/tofu.html>

71 宗舟 (浅草消防署手前右入る)

木彫刻 地図 P.17-B2



初代より百年以上にわたり社寺、仏像、置物などの木彫刻を専門に手掛けてきました。一階はギャラリーで、大黒様や聖観音菩薩など仏彫刻、根付け、小盆なども展示しております。お気軽にお立ち寄り下さい。

電 03-3845-0458  
住 台東区寿4-12-8  
営 10:00~17:00  
休 日曜・祝日



<http://so-syu.jp>

**72 宝研堂 (江戸通り駒形どぜう裏)** 書道用品専門店 地図 P.17 - B2



ご愛用の硯を研ぎ直し目立てをします。面を整地し直し厳選された砥石をかけ、仕上げに丸一日かけます。これを行うのと行わないのでは、使用感、見た目にも驚くほどの違いが出ます。是非一度お試し下さい。

電 03-3844-2976  
住 台東区寿4-1-11  
営 平日9:00~18:00  
第1・3日曜10:00~17:00  
休 第2・4・5日曜、祝日  
http://houkendo.co.jp



**73 グリーンジャケット** こだわりのゴルフ用品 地図 P.17 - B1



梅雨時のゴルフの必需品!夏場や雨のゴルフでグリップが滑りませんか?ゴリラゴールドが滑りを全て解決します。(全国販売店募集中)他所で見られないゴルフグッズをいろいろ揃えています。

電 03-3847-0871  
住 台東区浅草3-12-5  
ロワール浅草寿201号  
営 10:00~18:00  
休 日曜日・祝日  
http://www.green-jacket.co.jp/



**74 村石電気工事 (仲見世会館そば)** 電気工事業 地図 P.14 - B2



右の写真は当社が電気工事をした、汐留シティーセンタービル41階のFISHBANK(フランス料理店)です。このような工事を手がけ、また特殊ランプ等も販売しています。是非一度お立ち寄り下さい。

電 03-3845-2345  
住 台東区浅草1-32-9  
営 08:00~17:00  
休 日曜日  
http://www.asakusa.gr.jp/shop/muraishi.html



**75 ホテルサンルート浅草 (田原町駅前・国際通り沿い)** ホテル業 地図 P.17 - A2



田原町駅から徒歩1分!特に出張のお客様には、気取らず、それでいて質の高いサポートを第一に考えております。また、お食事とお飲み物は24時間"jonathan's"が提供致します。装い新たになったお部屋を是非お試しください。

電 03-3847-1511  
住 台東区雷門1-8-5  
営 チェックイン14:00  
チェックアウト11:00  
休 無休  
http://www.sunroute-asakusa.co.jp/



**浅草文化観光センター**



台東区浅草文化観光センターは、浅草寺を中心とする浅草の文化的遺産の保護・再発見に努めるとともに、広く全国で紹介するための施設。浅草の持つ特有の庶民文化や行事等の故事来歴などを紹介している。2012年4月20日(金)にリニューアルオープンしました。開館時間午前9:00~午後8:00。(年中無休)

**台東区観光ボランティアガイド**

台東区では、観光に来られた方の案内役として「観光ボランティアガイド」制度を設けています。利用できる人数は、2~3名の小グループから団体まで幅広く、「浅草寺を中心とした思わぬ発見コース」など、さまざまなご相談に応じてコースを設定してご案内しています。台東区観光ボランティアガイドに関する詳しいお問い合わせ、お申し込みは次のところまで。

**台東区観光ボランティアガイド事務局**  
□ TEL:03-3842-5599 FAX:03-6673-3046 □ ホームページ <http://www.taitouboragai.com>

**槐の会からのお知らせ**

浅草槐の会(あさくさえんじゅのかい)は、浅草寺のご本尊の聖観世音菩薩が、推古天皇36年(628年)3月18日、隅田川で示現され、槐の木(現在の駒形堂あたり)に安置されたといういわれから「浅草槐の会」と称しました。浅草槐の会では、楽しい浅草情報を、ホームページ、瓦版、などで紹介いたしております。また、四季折々の浅草を自由に、楽しく散策していただきたく、地図、歳時、名所、旧跡を中心に編さんした『日本の扉浅草』を刊行いたしております。この冊子が、皆様の浅草散策のお役に立てば幸いです。



えんじゅ  
**浅草槐の会事務局**

※この冊子は、槐の会会員店舗にて無料配付しております。